



## さざんか

かとう学園 宗像市立河東中学校  
学校通信第24号(R5. 9. 13)

朝晩は少しだけ涼しい風を感じるようになりました。耳に入ってくるのは、いつの間にかツクツクボウシからスズムシやコオロギの鳴き声に変わり、今年はヒグラシはどうしたのかな? と気になるこの頃です。

### ジュニア・ラグビー九州ブロック大会、福岡県ジュニア選抜九州大会選手に本校の2人の生徒が選出されました

先週、ワールドカップ2023フランス大会が開幕しました。本校でもラグビーで活躍している生徒がいます。玄海ジュニアラグビークラブで練習に励んでいる、本校の9年生 藤田 琉生さんと8年生 西端 湊美さんの2人は、令和5年度第24回ジュニア・ラグビー九州ブロック大会、福岡県ジュニア選抜九州大会選手に選出されました。この大会は、10月7日～9日、熊本県民総合運動ラグビー場で開催されます。みんなで応援しましょう。

### 新人戦に向けて～部活動・クラブチームの決意表明 Part4

【 女子バスケットボール部 大坪 実愛さん 】

こんにちは、女子バスケットボール部です。私たちは、日頃の練習で使える場所や少ない人数でできることは限られていますが、指導して下さるコーチや顧問の先生方のアドバイスをしっかり聞き、やるべきことを全力で頑張っていきたいと思います。人数は少ないけど、仲間との繋がりを大切に、どんな状況でも一つになれるチーム作りをしていきたいです。大会はオープン参加になるけれど、結果にとらわれず、全員でその時のベストを出せるように強い気持ちで試合に臨みたいと思います。

【 MBC 宗像ベースボールクラブ 伊藤 貫太さん 】

こんにちは。MBC(宗像ベースボールクラブ)キャプテンの伊藤貫太です。僕たちは8年生9人、7年生7人の計16名で、平日3日、土日の週5日元気に活動しています。僕たちの目標は、福岡県NO.1です!! この目標を達成するために僕たちは日々の練習に全力かつ楽しみながら取り組んでいます。現在開催されている全軟という大会では県大会出場を目標にして戦っています。最後に、僕たちMBCは部員を大募集しています。野球初心者でも大歓迎です。待ってま～す。

【 バレーボール部 山本 結子さん 】

こんにちは! バレーボール部部長の山本結子です。バレーボール部は7年生4人、8年生8人の合計12人で毎日元気よく活動しています。10月21日に開催される新人戦では、筑前大会出場を目標にし、ふだんの練習から、ひとりひとりが高く意識を持ち、みんなで声をかけあいながら、楽しくボールをつなげるようにしています。また、新チームではみんなが大きな声を発し、チームワークのよいチームにしていきたいと思っています。応援よろしくお願ひします。

## 『オアシスの老人』が教える見方・考え方とは？ ～自分の所属している集団やできごとをどのように見るのか～

物事やできごとに対して、あるいは人間関係や自分の所属している集団に対して、ちょっとした見方や考え方・とらえ方を変えるだけで、豊かに楽しく生きられることもあります。そんな話を紹介します。

### 『オアシスの老人』

2つの大きな町にはさまれたオアシスに、一人の老人が座っていました。

通りかかった町の人が老人にたずねました。

「これからとなりの町に行くのですが、この先の町はどんな町ですか？」

老人はこの質問に答えずに聞きました。

「今までいた町は、お前にとってどんな町だったのかね？」

町の人はいかめっ面して言いました。

「たちの悪い人間が多くて、きたない町ですよ。だから、となりの町に行ってみようと思ったんです。」

老人はこう答えました。

「お前がそう思っているのなら、となりの町も、たちの悪い人間が多い、きたない町だろうよ。」



しばらくすると、さっきの人が来たのと同じ町から、別の人がやってきました。その人はさっきの人と同じように老人にたずねました。

「これからとなりの町に行くのですが、この先の町はどんな町ですか？」

老人はこの質問に答えずに聞きました。

「今までいた町は、お前にとってどんな町だったのかね？」

町の人はいこやかに答えました。

「親切な人が多くて、きれいな町ですよ。」

老人はこれを聞いてこう言いました。

「なるほど、お前がそう思うのなら、となりの町も親切な人が多い、きれいな町だろうよ。」

この話に出てくる二人の町の住人はどちらも同じ町の人です。しかし、二人の町への感じ方や住人へのとらえ方は対照的です。一人は、周りの住人はきたない人でいっぱいではない町だと思っています。もう一人は、親切な人でいっぱいではない町だと思っています。どちらが真実かと言うのが問題なのではなく、とらえ方次第でどちらにもなるということでしょう。だから、前者は別の町で暮らしても悪者ばかりではない町と思うだろうし、後者は別の町に住んでも親切な人ばかりではない町だと思うだろう、とオアシスの老人は言います。

これに近い現象は、私たちの身の回りにもたくさんあるのではないのでしょうか。クラスや部活動・クラブ、学校、会社、地域や広くは県・国。そこに所属している人達。この話のように簡単に割り切れるものばかりではないし、現実はずっと複雑で多様でそうたやすく断定できるものではありません。しかし、こうした意識を少し持つことで、生きやすくなったり気が楽になったりすることも事実であり生き方のヒントになることをこの話は教えてくれているのではないのでしょうか。今まで見ていた人や集団や社会を、いい面をより強調して見てみたり、集団や組織のいい点を探してみたりすることで、より豊かに楽しく生活できることもあるのではないのでしょうか。

2学期に入ってしばらくたちましたが、少しずつでも周りの人や集団を意識的によく見ようとする姿勢が日常をうるおすことにつながるかもしれません。